

## 北海道大学対東北大学陸上競技定期戦申し合わせ事項

1. 大会は1日制で行い、日時・場所は主管校が決定し、6週間前までに相手校に連絡する。
2. 代表者会議は大会前日に主管校が主催して行うこととし、次年度の申し合わせ事項を決定する。
3. 競技種目は前年と同様とし、競技種目、競技順序を変更する場合には1ヶ月前までに、競技時刻を変更する場合には遅くとも1週間前までに相手校に連絡し、了承を得ることとする。
4. 新種目追加については前年度の代表者会議によって決定したもののみ採用とする。ただし、男子競歩については、四月末までに両校の話し合いで、女子種目については、四月末までに両校の女子代表の話し合いによって決定する。
5. 正選手は各校3名以内までとし、オープン選手は決められた種目についてのみ制限なしとする
6. 正選手の参加資格は北大および東北大の学生、選手に限り、他は一切認めない。
7. 正選手は当該種目の補欠枠にエントリーしている1名の選手とのみ交代することができる。
8. 上記7の事項のリレーへの適用はなく、リレーについては当該年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。ただしオープン種目のみにエントリーしている選手は選出できない。
9. ナンバーカードは、北大は100番台、東北大は200番台とし、各校で登録人数が100名を超える場合には、それぞれ1000番台、2000番台とする。ナンバーカードは各校で用意する。
10. 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、前日の代表者会議において決定する。
11. 勝敗は得点の大小で決定し、同点の場合は優勝種目数の多い方の勝ちとする。
12. 大会費用は、競技場使用料・競技役員交通費・陸協および学連への運営協力金・弁当代・貸切バス代など当日運営にかかる費用について両校で二分して負担する。用紙代、郵送代、その他手数料などの当日以外の運営準備にかかる費用については主管校が負担する。
13. トロフィーは優勝校が1年間預かるものとする。
14. 申し合わせ事項に不備があれば、代表者会議で協議の上、訂正・追加する。
15. 代表者会議での協議方法は、両校一致とする。
16. 申し合わせ事項の内容は当該年度日本陸上競技連盟競技規則に優先する。
17. 申し合わせ事項はプログラムに記載されなければならない。
18. 平成31年度の男子対校5000m競歩は、正選手各校3名以内・4点制で実施し、女子競歩種目は、5000mW OPのみとする。
19. リレー種目のレーンは、代表者会議での抽選によって決定する。
20. 短距離種目のレーンは、各校交互にする。
21. フィールド決勝の試技順は競技規則にのっとる。